

第2回FD研修会を開催

認証評価結果検討と「デザイン・シンキング」ワークショップ

平成24年度第2回金沢高専FD研修会が、昨年12月22日(土)午前9時から午後1時の間で、23号館パフォーマンススタジオで教職員約40人が出席して実施された。

このFD研修会は平成16年度からスタートし、今回で9回目となった。23号館での初の研修会となったが、広々とした空間と整った施設や器材を利用し、快適な研修会を実施することができ大変好評であった。

山田弘文校長のあいさつに続いて、第Ⅰ部は「認証評価結果検討」を行った。今回の認証評価での「改善事項の該当なし」という前代未聞の好結果を受けて、山田校長から「このような好結果を得たことで、今後、全国から大きな期待が寄せられると思う。その期待に応えていかなければならない」と、今後の更なる努力の方向が示された。認証評価準備の中心的役割を担った香林利男教授からは、「認証評価を終わって」と題して、改善事項としては指摘されなかったものの、今回の認証評価を通じて浮き彫りとなった、金沢高専自身で努力を要する事項についてのまとめが行われた。その後、4分科会に分かれて、継続していきべき事項や、今後、更に発展させていきべき事項等に関する検討が行われた。

第Ⅱ部では、小高有晋准教授及び松下臣仁准教授による「デザイン・シンキング」のワークショップが開かれ、

デザイン・シンキングの1過程を体験した。日頃愛用しているバッグを題材としたワークショップは非常に興味深く、時間はあっという間に過ぎていき、大変有意義な研修会となった。



ワークショップに参加する教員=23号館で